

明神町薬局

頭痛 めまい シビレ・ピリピリ



# ナイト治療

— くすりの説明 —

## 私の処方について説明します

- ◎ 錠剤も粉薬も、子供に近い少量です。1日1回、夜8時までに内服下さい。
- ◎ 心の痛み、体の痛みに効果を発揮します。
- ◎ 睡眠の質を改善し、長期内服しても副作用は少ないです。
- ◎ 早く治すには、早寝 と ウォーキングです。

※生活日誌を  
つけましょう。

## くすりの副作用

年2回の血液検査をお願いします。

眠気 →眠気があるため、夜8～9時までに内服ください。

口渇 →我慢できる範囲です。

便秘 →マグミット500mg 1錠を出しておきます。

まれに肝機能他の副作用があります。

## 粉薬にしてある理由

内服量を自己調節できるよう、粉薬にしてあります。



朝 眠気が残るから、  
朝体が重いから、  
調子が良くなったから



今日は3/4飲んでみよう、  
2/3飲んでみよう、半分にしてみようなど、  
手軽に調整が出来るよう、粉にしてあります。

## くすりの作用機序

### トリプタノール・ノリトレン

脳内ホルモンであるノルアドレナリン、セロトニンを増やすことにより、脳幹(中脳)から脊髄後角に至る下行性疼痛抑制系を活性化させ、痛みを感じにくくします。鎮痛効果はリリカ、トラムセットを抑えてトップです。抗うつ作用もあります。

### デパケン・セレニカR

脳内ホルモンであるギャバ、ドパミン、セロトニンを増やし、中枢性疼痛抑制系を活性化させます。また、Naイオンチャンネルを阻害作用により痛みを感じにくくします。情緒安定作用、抗てんかん作用もあります。

### インデラル

Naチャンネル阻害作用により神経細胞の興奮性を抑制し、鎮痛・鎮静効果を発揮します。1966年Rabkinが片頭痛への有効性を発見しました。不整脈の治療薬でもあります。

### リボトリール

脳の活動は興奮系と抑制系のバランスの上に成り立っています。リボトリールは抑制系を強める3種向精神病薬に属します。リボトリールは自律神経安定作用の強いのが特徴です。その他、睡眠の質の改善薬として、寝る前のムズムズ脚の治療薬として有名です。

### リスペリドン

ドーパミンとセロトニンの作用を調整し、気分を安定させてくれます。難治性の睡眠障害には少量で効果を発揮します。精神科で使用する成人量は色々な副作用を伴います。

トリプタノール、デパケン、インデラルは国際疼痛学会をはじめ、各国の疼痛薬物ガイドラインにおいて、鎮痛の第一選択薬に位置づけられています。トリプタノールは、ヨーロッパでは、片頭痛・めまい片頭痛の第一選択薬です。余談ですが、巷でよく処方されているリリカは、抗てんかん薬ガバペンの構造類縁体です。しかし、トリプタノールNNTは、リリカの1.86倍高いことが判っています。すなわち、トリプタノールの方が、リリカ、トラムセットより、はるかに鎮痛作用が強いのです。

うつの薬、てんかんの薬、精神科の薬だから飲みたくないと言っているのは日本人だけです。今や、慢性の痛み治療薬はトリプタノール、デパケン、これが世界の常識です。2010年厚生労働省の「慢性の痛みに関する検討会」は、この世界の常識を追認しました。薬について正しい知識を持って、服用することが大切です。